

お客様事例

Georgia-Pacific社と CONNEX



お客様のご紹介

Georgia-Pacific (ジョージア・パシフィック) 社は、ティッシュ、包装、紙、パルプ、建築製品、関連化学薬品における世界有数のメーカーおよびメーカーであり、世界中に約 3 万 5,000 人の従業員を有しています。

そして、米国カンザス州ウィチタに本社を置く民間企業である Koch Industries 傘下の独立経営／運営会社です。



課題

- ・ 定期的にしか使用しない大型機器のレンタル費用の管理
- ・ RMSファイル (Records Management System: 記録管理システムの略) の価値を最大化し、同社所有のシステム ChampsをPCに公開するための費用対効果の高い方法を見つけながら、レポート機能を向上させる



成果

- ・ ビジネス慣習の管理向上
- ・ レガシーシステムの寿命延長と移行への見通しの確保
- ・ セキュリティを損なうことなく柔軟性と開発機能を向上
- ・ 代替案の10分の1のコストで実現



ソリューション

- ・ CONNXによるメインフレームおよびデータの連携

紙の節約にとどまらない効果

(2022年現在) Georgia-Pacific社のテクノロジーは、SAP®とMicrosoft®への移行という企業プランに基づいて進行中です。ただし、同社は、古いシステムから多くの情報を抽出するコスト効果の高い製品を使用して、現在のユーザーニーズに対応し続ける方針です。同社の一部門であるPort Hudson Operationsの情報リソースマネージャーであるDavid Burns氏は、次のように語っています。「我々には経営するビジネスがあります。Georgia-Pacificでは、ソフトウェアの決定は会社全体として行いますが、各部門は移行を念頭に置いて妥当な技術計画を立てる必要があります。Port Hudson Operationsでは、企業全体の将来を見据えた技術的方向性に対応しながら、現在の投資を最大化するソリューションでユーザーのニーズに対応します」。

Georgia-Pacific社のCommunication Papers Divisionの一部門である Port Hudson Operations は、米国レイジアナ州ザカリーに拠点を構え、年間50万トン以上のコピー用紙、ボンド紙、オフセット印刷紙を生産しており、そのほとんどは米国本土で販売されています。また、25万トンの漂白済み市販パルプも生産しており、その大部分は世界中に輸出されています。現場での主な運用上の課題として、工場が定期的にしか使用しない大型機器向けレンタル費用の管理があります。最近まで、レガシーシステムはそういった費用を効果的に管理するのに必要な、レンタルに関する情報を提供していませんでした。Port Hudson Operations は、RMSファイル（記録管理システムファイル）の価値を最大化し、PCに対して 同社所有のシステムである Champsを開放するコスト効果の高い方法を探しながら、レポート機能を改善する必要がありました。

「従来のソリューションでは、当社が望んでいたプランは実現できませんでした」とBurns氏は語っています。「たとえば、ある目的で機械をレンタルし、他の誰かがそれを別の目的で借りると、レンタル時間が延びます。レンタル会社が予定通りに機器を引き取りに来ず、それに気付かず過剰請求されることもありました。当社は、このような事例を適切に管理するために、使いやすくコスト効果の高いソリューションを探して、早急に導入したいと考えていました。また、他のビジネス活動を管理するためのアプリケーションを迅速に構築する必要もあり、レガシーシステムへのインターフェースを提供するための迅速で効率的な方法も必要でした」。

レンタルの追跡に係わる問題に対処するために、システムアナリストであるJerry LeBlanc氏が参画しました。「従来の購買システムには、請求書や発注書がレンタル品であるかどうかを識別するための既存のフィールドがありましたが、申込書を作成するときにユーザーはそれを無視することができました。独自のレポートをユーザーが作成できるようにするためさらに便利な方法を提供するとともに、ユーザーが各自のPCから当社のRMSファイルにアクセス可能にする製品が必要でした」とLeBlanc氏は語っています。

そしてLeBlanc氏は、ODBCドライバであるCONNXのことを知りました。同氏は次のように語っています。「それを注文して1時間で習得しました。検討した別の製品は、そのメーカーによると3〜4か月のトレーニングが必要とのことでした。さらに、コストはCONNXの10倍でした。CONNXは、レガシーシステムを活用することが可能で、ユーザーに迅速な改善を提供する機能があります。それらの機能は開発用として、または利用可能なPCツールを使用するのに利用できます」。

「発注してから1時間で習得しました。実のところ、CONNXを使用してここにあるほぼすべてのシステムでレポートを作成しました」

— Jerry LeBlanc氏 | Georgia-Pacific社 システムアナリスト

LeBlanc氏はCONNXを使用して、レンタル品、アカウント番号の追跡、発注書番号、さらにはダウンタイムに関して、できるだけ多くの項目をユーザーが報告できるプログラムをすぐに作成しました。「彼らは CONNX を ODBC ドライバとして使用しています。Microsoft Accessにアクセスし、[添付] をクリックすると、データがそこに表示されます」とLeBlanc氏は語っています。

レポート作成がはるかに簡単になっただけでなく、Port Hudson Operationsでは CONNX によって改善された追跡機能により、レンタルに関して年間10万〜20万ドルを削減できると見込んでいます。

CONNXは、最初の段階で非常に効果的であることが実証されたため、Port Hudson Operationsは現在、他の領域でのレポート作成にもCONNXを使用しています。「私共は、ロール状の紙をシートに変換するコンバーティング部門の機器のダウンタイムに関するレポートに CONNX を使用しています」とLeBlanc氏は語っています。「従業員の作業報告書にも広く使用していますし、レガシーシステムから、会計士が必要とする作業指示書と買掛金分配に関するレポートを作成するのにも使用しています」。

「CONNXを使用することで、プログラマーは簡単に発注書にアクセスしたり、セクション全体を簡単に削除したりできます。それを使う全社員にとって本当に役立つ製品です」。CONNXにより、同社は在庫管理手順を大幅に変更できるようになりました。このことは、CONNXがPort Hudson Operationsのその他の領域における改善もサポートできることを示しています。

「現在、当社は事後対応的ではなく積極的な管理を行っています。たとえば、よりタイムリーに情報を得られるおかげで、レンタルの超過時間を2〜3日短縮しています。別のグループのためにレンタルを延長する場合は、そのグループに料金を請求します。

このように管理を改善した結果、大幅なコスト削減が実現できました」とBurns氏は語っています。

「また、CONNXの購入コストも高くないため、開発コストを大幅に削減できました」。

次のステップへ

詳細については、Software AGの担当者までご連絡ください。

メールでのお問い合わせ: sales-jp@SoftwareAG.com

www.SoftwareAG.com/jp

SOFTWARE AGについて

Software AGはSoftware GmbH所有のブランドで、複雑さを簡素化し、透明性を高め、組織が変化に備えるための製品を通じて、企業が業務とテクノロジーを管理・最適化するのを支援します。50年以上にわたり世界のトップ企業から信頼を得ているSoftware AGが提供する、AI対応プロセスインテリジェンス、アプリケーション開発、高性能データベースソリューションは、銀行、小売業、製造業、政府機関など、世界中の多くのお客様に利用されています。

ソフトウェア・エー・ジー株式会社は、Software AGの日本法人として2000年10月に設立され、20年以上にわたり日本の大手企業へ多数の導入実績を持っています。

詳しくはwww.softwareag.com/jpをご覧ください。また、当社の[LinkedIn](#)およびX(旧Twitter)のフォローをお願いします。

© 2025 Software GmbH. All rights reserved. Software AG、Software AGロゴ、全てのSoftware AG製品は、ドイツ本社あるいはその他の国のSoftware AGの登録商標あるいは商標です。

本書に記載の全ての他の会社名、製品名、サービス名は、それぞれの所有者の登録商標である場合があります。